

木知原の今昔!

37号:6・4・19

学校シリーズ(其の二)

学校の変遷

何だこれは!

これでも中抜き省略あり。それほどややこしいのが学校変遷

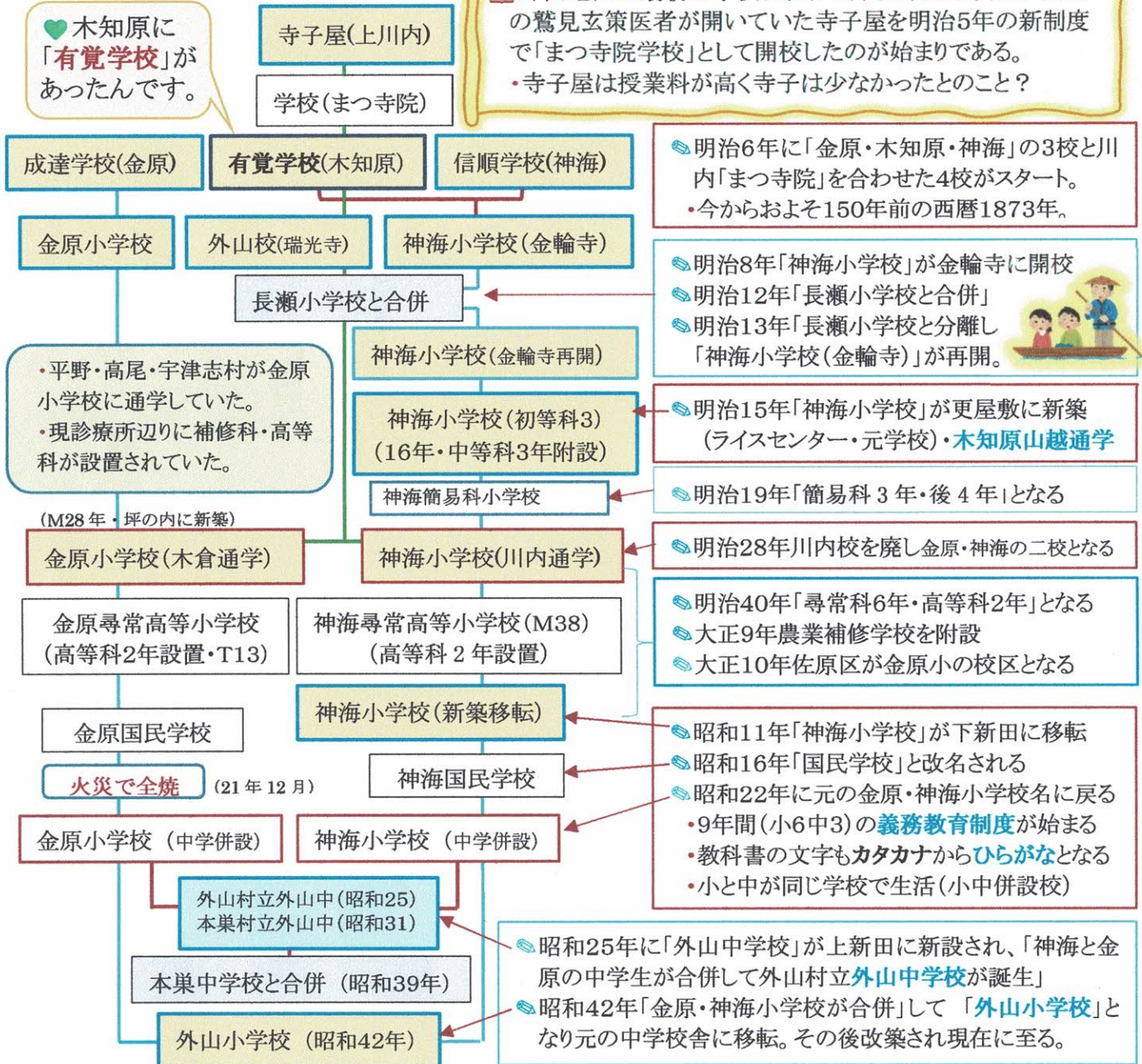


S11 改築:神海小学校

明治5年以降に教育基本法が10回近く改訂され校名や就業年限等その変遷は複雑であった。外山地区は合併や分離を繰り返してきたこともあってか沿革史に相違も見られるほどである。校名に重きを置いてその経緯をまとめると凡そ下記の様である。

木知原に「有覚学校」があったんです。

外山地区の最初の学校は江戸時代の終わり頃に上川内の鷲見玄策医者が開いていた寺子屋を明治5年の新制度で「まつ寺院学校」として開校したのが始まりである。
・寺子屋は授業料が高く寺子は少なかったとのこと?



私事ですが、定年間近にある地区の公民館で『おや?どこかで見たような建物...』と思ったが、後に「外山中学校の教室」を公民館として移築したものと聞いてビックリ。

『そうだ!あの造りは北舎西端の理科室だ!そう言えば巡回映画をよく観たな~。ひといきれがひどく床の節穴からの風が気持ちよかったな~』と50年以上も前の他愛もない出来事を昨日のように思い出した記憶があります。

皆さんもなつかしい思いでいっぱいだと思いますが如何ですか。 **母校はふるさと...!!**